

シズベルが LTE パテントプールを開始

共同ライセンスプログラムで必須特許へのアクセス向上

ロンドン, 2012年11月5日 – シズベルは、4G と呼ばれる最新の無線通信規格である LTE の必須特許ポートフォリオライセンスを提供するため、新たなパテントプールプログラムを開始しました。このポートフォリオは、Cassidian, an EADS company、the China Academy of Telecommunication Technology; the Electronics and Telecommunications Research Institute、France Telecom, TDF と KPN が保有する特許に、2011年シズベルが Nokia より取得した特許を含みます。パテントプールは、LTE 必須特許を保有するすべての企業が参加可能であり、シズベルは、プールへの参加を希望する企業と協力を続けます。

シズベルのパテントプールでは、LTE 必須特許の現状のポートフォリオに関して、標準条件の下、端末 1 台ごとに 0.99 ユーロのランニングロイヤリティでライセンスを提供します。ライセンス条件についてのさらに詳細な情報については直接シズベルにお問い合わせください。

フランステレコムの子会社のライセンスディレクター、Jean-Francois Bernard は、このパテントプールの開始を高く評価し、“今回の前進は、パテントプールとその参加者が保有する LTE 必須特許へのアクセスを容易にし、電気通信メーカーや、オペレーター、利用者にとって利益をもたらすことになるでしょう。”と述べました。

また Cassidian、通信安全対策 CTO の Eric Davalo は、“シズベルと協力し、私たちは効率的かつ効果的なライセンスの仕組みの構築に集中することができました。これにより、LTE 必須特許保有者のさらなる加入が見込めるでしょう。”と述べました。

シズベルインターナショナルの CEO、Giustino de Sanctis は、“シズベルの提供する LTE パテントプールはライセンシーにとって、極めて大きな価値があります。LTE 産業の利益のために低い累積実施料率を提唱している企業にとって、個別にライセンス交渉をするよりもこの共同ライセンスに参加することは、その立場をより強固なものにする大きなチャンスとなります。”

シズベルでは、LTE 規格に必須と思われる特許をもつすべての特許権者にパテントプールへの参加を呼び掛けています。プールが指定する独立した評価者により、特許の必須性の審査を受けることを希望する企業はシズベルまでご連絡ください。

シズベルについて

1982年のイタリアにおける創業以来、シズベルグループは知的財産権の管理と特許価値の最大化に取り組んできたリーディングカンパニーです。シズベルグループは世界中に拠点を有し、イタリアにシズベル(トリノ)とエディコ(ローマ)、米国にシズベルUSとAudio MPEG(ワシントン首都圏)、中国にシズベル香港、日本にシズベルジャパン(東京)、ドイツにシズベルジャーマニー(シュトゥットガルト)、ルクセンブルグにシズベルインターナショナル、そして英国にシズベルUKを展開しています。グループには技術、法律、ライセンシングなどの専門知識を有する100名以上の社員が在籍します。

特許管理において長年の実績を有するシズベルがこれまでに手掛けた特許ポートフォリオには、MP3 やMPEG Audio として知られる音声圧縮規格に加え、OSD (On Screen Display)や、ATSS (Automatic Tuning & Sorting System)、WSS (Wide Screen Signaling - for automatic switching of television image formats)など幅広い技術が含まれています。さらに、UHF-RFIDや、CDMA 2000, DVB-T, DVB-T2規格に関するパテントプールの運営も行っています。

詳しい情報は www.sisvel.com を、ご覧ください。

###

メディア問合せ:

Larry Bouchie, TurboPR

Larry@TurboPR.com

+1 781-620-0278

本記者発表文の公式バージョンは英語版です。日本語翻訳版は、読者の便宜を図る目的で提供されたものであり、法的効力を持ちません。日本語翻訳版を資料としてご利用になる際には、法的効力を有する唯一のバージョンであるオリジナル言語版(<http://www.sisvel.com/>)と照らし合わせて頂くようお願い致します。